



愛知県議会議員（長久手市選出）

石井よしき



2025 秋

連絡先 長久手市長配3丁目210番地 TEL0561-61-2225/FAX0561-62-9511 ✉ ishi43@peach.plala.or.jp

（愛知国際アリーナ）

IGアリーナがグランドオープンしました！

1964年に完成した愛知県体育館は施設の老朽化と、規模・機能がスポーツの国際大会を開催するための基準を満たしていませんでした。このため、しばしば「名古屋飛ばし」とも言われ、全国レベルのコンサート、イベント、スポーツ、コンベンション等が開催できる拠点整備が求められる中、この度、2025年7月13日にIGアリーナがグランドオープンしました。



収容人数

は、従来の愛知県体育館の7,500人に対して、IGアリーナのメインアリーナでは、日本初の可動式座席を活用して、立ち見を含めて最大17,000人、サブアリーナで600席、スタジオ2室、会議室2室を持つ施設であります。

利用料金

は、メインアリーナで営利目的でない一般利用の場合、税込みで、平日825,000円、土日・休日1,100,000円、興行利用では平日8,800,000円、土日・休日で14,300,000円となります。

事業方式

は、民間事業者の提案をもとに、その事業者がアリーナの設計・建設を行い、その後、30年間の維持管理・運営も行うものであります。（BTコンセッション方式）

費用

は、アリーナ建設にあたる設計・建設費（約464億円）と30年間の維持管理・運営費が必要なところ、BTコンセッション方式により県が、サービス購入料として約264億円の費用を支払い、残りの設計・建設費の差額、約200億円と30年間の維持管理・運営費を（株）愛知国際アリーナ（NTTドコモ、前田建設、他5社）が請け負うことになります。

9月議会 で決まったこと（抜粋）

●パーキング・パーミット制度 の開始に向けた準備を進めます

12,678千円

【パーキング・パーミット制度】

障害のある方など歩行が困難な方に対して、利用証を交付することで、障害者等用専用駐車区画の対象者の明確化と当該駐車区画における不適切な駐車を抑制し、適正利用を図ることを目的とする制度

●対象者：障害者、要介護者、難病患者、妊産婦、けが人等の歩行が困難と認められる者

●事業内容：事務局設置、広報啓発、利用証等の作成

●スケジュール：2026年6月 制度開始

●県営都市公園大高緑地の 将来構想を検討します

178,470千円

1963年に開園以来、多くの皆様に親しまれてきた大高緑地のリニューアルに向け、将来構想を検討します。
環境調査や民間活力の導入も視野に入れたサウンディング調査を実施し、プール跡地等の未整備区域等を有効活用し、新たな魅力を創造していきます。

●交通死亡事故抑止に向けて 交通安全対策を推進します

118,366千円

交通事故多発交差点において、信号灯器のLED化、道路標識・標示の整備をおこないます

- 信号灯器のLED化 208灯
- 道路標識の更新 614本
- 道路標示の更新 190.5㎡





県民環境委員会 一般質問

A: 私学振興室長

愛知県の私立高校における私学助成について

愛 知県の私立高校への授業料軽減補助は、現在、全日制で年収720万円未満の世帯まで無償となっており、これにより私学に通う約半分の生徒の無償化を実現しております。これは、私たち会派が私学に通う保護者の皆さんから長年にわたり要望を受け実現してきたものであります。

その中、国は過日、3党合意がなされ、来年度、国の修学支援金が所得制限なく457,000円まで拡充されることが予定されています。即ち、授業料が457,000円を下回る学校は完全無償化となり、上回る学校は、その上回った分が保護者負担となります。

石井 県では現状、授業料445,200円までを補助しているが、国の457,000円とした場合、各学校の授業料が現行どおりと仮定すると、無償化に係る所要額はいくら増額となるのか？



A. 今年度の生徒数に基づいて試算すると約94億円の増となる。

石井 次に愛知県内の全日制的私立高校のうち何校が457,000円を超えていて、また何校が下回っているのか？

A. 県内私立高校55校のうち、今年度上回っている学校は10校、下回っている学校は45校である。

石井 この下回っている45校が仮に授業料を457,000円まで引き上げたとしたら、その引き上げに伴う影響額はいくらか？

A. 今年度の生徒数に基づいて試算すると約14億円になる。

私の思い

国が授業料457,000円まで補助するということは、学校は、保護者負担なく授業料を値上げすることも可能であります。しかし、原資が税金である以上、根拠のない値上げは抑制しなければならず、経営者の補助ではなく、「建学の精神」のもとでの学校の独自性や特色の強化等、生徒への還元でなければならないと思っています。

県立高校だけでなく、私立高校も役割を担う愛知県として、制度変革期である今だからこそ、国の動きを注視しつつ、未来を担う、こども達のためになるよう努めていきます。

県立高校だけでなく、私立高校も役割を担う愛知県として、制度変革期である今だからこそ、国の動きを注視しつつ、未来を担う、こども達のためになるよう努めていきます。



長久手市にある愛知県農業総合試験場が「イグノーベル生物学賞」を受賞しました！

2025年9月19日にボストン大学で第35回イグノーベル賞授賞式が開催され、愛知県農業総合試験場と京都大学が共同で2019年に論文発表した「シマウマ模様の塗装による牛の吸血昆虫対策」が生物学賞を受賞しました。

この研究は、アブやサシバエなどの吸血昆虫が牛に刺すと、採食や休息を阻害し、生産性に悪影響を及ぼすばかりか、牛白血病などの疫病を媒介します。対策としては主に殺虫剤が用いられますが、薬剤抵抗性の虫が発生するという問題を抱える中で、牛の体表を

シマウマ模様に塗装することにより、サシバエなどの吸血昆虫の牛への付着を減らす効果(約50%減少)があることを解明したものであります。



イグノーベル賞とは？

「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に与えられる賞で、ノーベル賞のパロディとして1991年に創設されました。

受賞分野はノーベル賞と同じ分野の他、生物学、昆虫学、心理学など多種多様で、毎年10部門ほどが選定されています。

35回のうち、日本人受賞者は今回を含めて28回、2007年から2025年まで19年連続で受賞しています。